

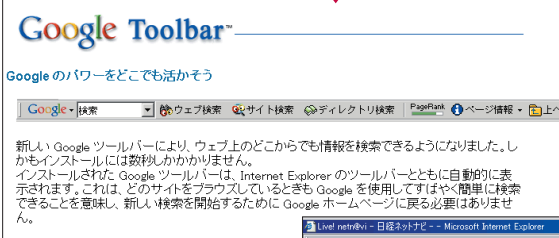
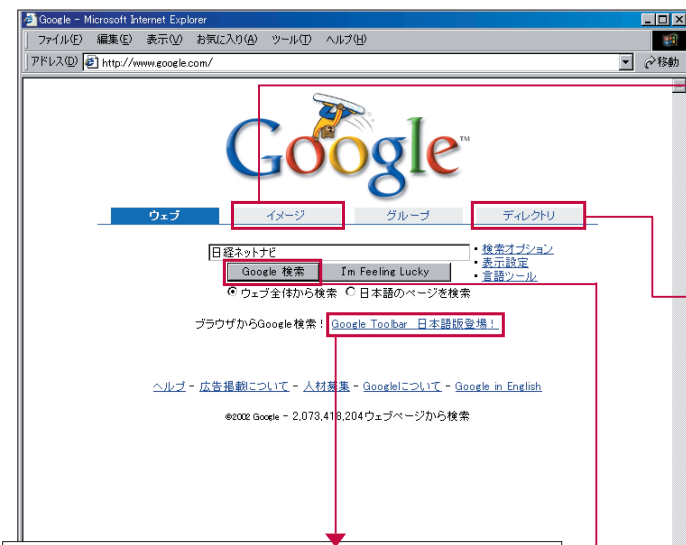
情報収集の極意はこれだ NO.3

検索エンジンの達人になる Googleの巻

http://www.google.co.jp/

高速&的確な検索力で人気を獲得した定番の検索エンジンGoogle(グーグル)。シンプルなインターフェースの裏に隠された強力な検索機能を使いこなそう。

文/石原一恵(ネオログ) イラスト/小森 誠



Google ツールバーをIEに組み込む

IEにGoogleの検索機能を組み込む「Google ツールバー」。インストールするには本誌付録のCD-ROMを使うか、ツールバーのページ(http://toolbar.google.com/intl/ja/)から入手しよう



GIF/JPEG 画像を探す イメージ検索機能

Web上にある画像ファイルをキーワードで検索できる。検索結果はサムネイルで表示。サムネイル画像をクリックすれば、画像を元のサイズで閲覧でき、画像を掲載しているページへも飛べる。お目当ての画像をキーワードで探せる強力な機能だ!

ジャンルを選んで探す ディレクトリ検索機能

「ディレクトリ」では、Yahoo! のように「ニュース」や「健康」など14のカテゴリーで分類。各カテゴリーには、さらに細かく分類したサブカテゴリーを用意。見たいWebページをジャンルから選んで行く場合に便利だ



IEでいつでもGoogle検索を利用できる!

使い方は検索ボックスにキーワードを入力してEnterキーを押すだけ。Googleで検索したのと同じように検索結果を表示してくれる。このツールバーは、Googleのほとんどの機能を利用できる

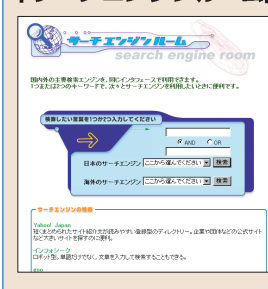


検索精度の高さが自慢!

通常の検索方法は、検索ボックスにキーワードを入力して「Google検索」を押す。複数キーワードをスペースで区切って入力すると、すべてのキーワードに合った検索(AND検索)をする

Live!netn@vi

「サーチエンジンルーム」を使えば、検索がラクラク



ネットナビのホームページ「Live!netn@vi」にある「サーチエンジンルーム」では、国内や海外の主要サーチエンジン(検索エンジン)を、簡単な解説を付けて取りそろえてあります。検索の目的に応じてエンジンを使い分けるために、その特徴を理解しておきましょう。使い方は検索文字(キーワード)を入力ボックスに入れて、使いたいサーチエンジンをプルダウン・メニューの中から選択、後は検索ボタンを押すだけです。「AND検索」「OR検索」も指定することができます。

http://netnavi.nikkeibp.co.jp/top/search/

Google ちょっという話

イベントロゴをクリックすると



クリスマスや新年など、特別な日(記念日)に登場するイベントロゴもGoogleの楽しみの一つ。実はこのロゴをクリックすると、イベントに関連したキーワードの検索結果が見られるって知ってた? 例えば、ソルトレークオリンピックの時はロゴをクリックすると「2002 Winter Olympics」で検索した結果を表示するようになる。イベントロゴが出ている時は、試しにロゴをクリックしてみよう。過去のロゴは英語版ページ(http://www.google.com/holiday_bgos.html)で見られるぞ

一歩進んだ「検索オプション」の使い方

検索には様々なテクニックがあるが、Googleではこの「検索オプション」が高度な検索への第一歩だ。

Googleのトップページの検索ボックスにキーワードを入れて検索するのは、検索オプションで「すべてのキーワードを含む」で検索したのと同じになる。

気をつけたいのは、一般的に使われる語句は検索キーワードから自動的に除かれること。例えば「iモード」で検索すると「i」が一般的な語句とみなされ「モード」で検索してしまう。この場合は「フレーズを含む」に「iモード」と入れれば一つの単語として検索してくれる。

特に使えるのはドメイン検索。例えば「日経BP社のサイトで見たあのニュースどこにあるんだっけ?」という時は「nikkeibp.co.jp」ドメインを入力すれば、そのドメインのサイト内だけを検索できるのだ。

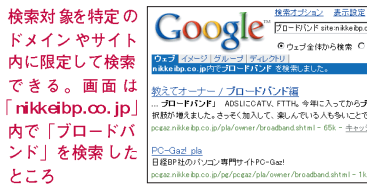


キーワードの検索条件をここで指定する。例えば「Windows XP」と「フレーズを含む」を入力すれば1つの単語として認識される。「キーワードを含めない」は特定のキーワードを除外して検索(NOT検索)する時に使う

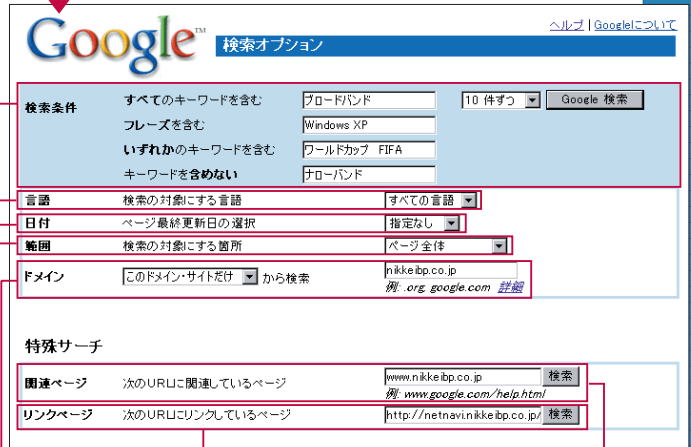
検索対象となるWebページの言語を指定できる。34カ国語に対応しており、標準設定ではすべての言語で検索するように設定してある

Webページの最終更新日を3カ月/6カ月/1年以内から選択でき、期間内に更新したサイトだけを検索できる。最新ニュースを探す時に便利だ

検索対象を指定する。通常はページ全体が対象となるが、タイトル、本文、URL、リンクのはってあるテキストに検索対象を限定できる



詳細な検索をしたいときは、検索ボックスの横にある「検索オプション」のリンクをクリックしよう

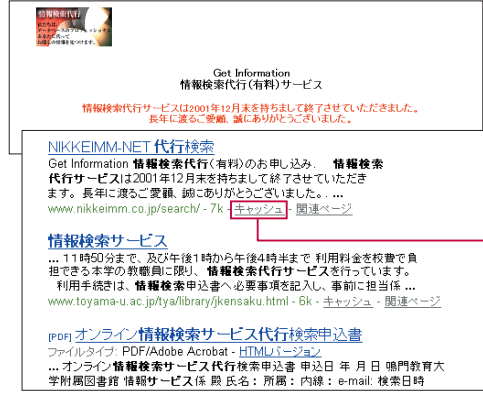


特定のWebページにリンクしているページを探す時に使う。例えば入力ボックスに自分のWebページのURLを入れて「検索」を押せば、どこからリンクされているか調べられるぞ

指定したWebページと似たジャンルのWebページを探すなら「関連ページ検索」を使おう。例えば、日本経済新聞のURLを入力して検索すると、朝日新聞や読売新聞のサイトを表示する

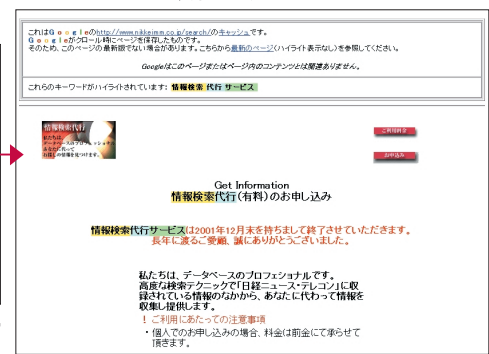
消えたWebページをキャッシュで表示

Googleで検索をして、見たいWebページを発見。でも、ジャンプしたら閉鎖されていた——そんな時に使いたいのがGoogleの「キャッシュ」機能だ。これはGoogleがインターネットで収集したWebページの内容を保存しておく機能。検索結果の右下に表示される「キャッシュ」をクリックすれば、閉鎖したWebページでも、一定期間内なら内容を確認できる。ただし、Googleが保存していないWebページは見ることができない。



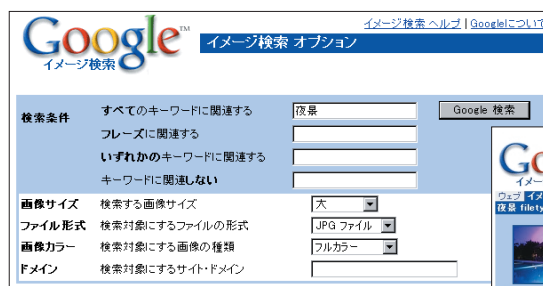
ページが閲覧できない時は「キャッシュ」を使う。PDFやWordなどのファイルは「HTMLバージョン」を使うと、ブラウザで見られる

Googleが最後に保存したWebページの内容を閲覧できる。検索に使ったキーワードがページ内にあると、色をつけてハイライト表示してくれる



イメージ検索で画像を効率よく探す

画像を探すのに便利なイメージ検索機能だが、検索結果を見るとサムネイル画像だったり、モノクロ画像だったり、思ったように目的の画像が見つからないことも。そんな時は「イメージ検索オプション」で絞り込みをしてみよう。キレイな画像を検索するコツは画像サイズを「大」以上に、ファイル形式を「JPGファイル」に、画像の種類を「フルカラー」にすることだ。



イメージ検索のトップページが検索結果で、「イメージ検索オプション」のリンクをクリックすると、詳細設定のページに移動する

画像サイズとファイル形式、画像カラーを指定して検索してみた。小さな画像やモノクロ画像などが除外され、綺麗な画像ファイルだけを検索できた

